

慣用句②

名前



「次の慣用句を使って、短いお話（または文章）を書きましょう。」

例

慣用句

尻に火が付く

試験が明日だと気づき、やっと尻に火が付いた。

①

慣用句

手を染める^そ

②

慣用句

手に汗握る^{にぎ}

③

慣用句

手に余る

④

慣用句

腕に覚えがある^{うで}

⑤

慣用句

腕が鈍る^{うで}

⑥

慣用句

腰を据える^{こし}

⑦

慣用句

肩をすくめる

⑧

慣用句

腰が重い

慣用句②

名前



「次の慣用句を使って、短いお話（または文章）を書きましょう。」

例

慣用句

尻に火が付く

試験が明日だと気づき、やっと尻に火が付いた。

①

慣用句

手を染める

彼は少しずつ悪い遊びに手を染めていった。

②

慣用句

手に汗握る

サッカーの試合は、手に汗握る接戦だった。

③

慣用句

手に余る

この宿題の量は、僕の手には余る。

④

慣用句

腕に覚えがある

料理なら腕に覚えがあるから、まかせてほしい。

⑤

慣用句

腕が鈍る

最近ピアノを弾いていないから、腕が鈍ってしまった。

⑥

慣用句

腰を据える

この問題は難しいから、腰を据えて考えよう。

⑦

慣用句

肩をすくめる

難しい質問をされて、彼は肩をすくめるしかなかった。

⑧

慣用句

腰が重い

彼は何をするにも腰が重くて、準備に時間がかかる。